受講方法
受講料

❶ 基礎コース＋視点のプール（各コース3パターンあります）
❷ 視点のプール
❸「オールラウンダー」（すべて受講可）／「セミ・オールラウンダー」（基礎コースの［アーティスト］を除くすべて受講可）

※ ❶は複数選択可能です。／基礎コースのみでの受講は、受け付けておりません。
❶をお申込みの時点で、視点のプールを15あるいはすべて受講希望の方は、受講料について別途お問い合わせください。

	コース／クーポン名	レクチャー数	受講料	定員
❶基礎コース＋視点のプール	アートヒストリー +2	16（コース14+視点2）	¥72,400	12名
	アートヒストリー +5	19（コース14+視点5）	¥84,400	
	アートヒストリー +10	24（コース14+視点10）	¥104,400	
	アーティスト +2	16（コース14+視点2）	¥88,500	10名
	アーティスト +5	19（コース14+視点5）	¥100,500	
	アーティスト +10	24（コース14+視点10）	¥120,500	
	ライティング A/B +2	10（コース8+視点2）	¥44,800	A/B 各10名
	ライティング A/B +5	13（コース8+視点5）	¥56,800	
	ライティング A/B +10	18（コース8+視点10）	¥76,800	
	リーディング +2	8（コース6+視点2）	¥35,600	10名
	リーディング +5	11（コース6+視点5）	¥47,600	
	リーディング +10	16（コース6+視点10）	¥67,600	
❷視点のプール	視点のプール　クーポン3	3	¥13,500	—
	視点のプール　クーポン5	5	¥22,500	
	視点のプール　クーポン10	10	¥45,000	
	視点のプール　クーポン15	15	¥67,500	
❸	セミ・オールラウンダー	43	¥163,400	—
	オールラウンダー	57	¥222,300	

お申込方法

アートトのホームページからお申し込みいただくか、件名を「スクール申込」とし、コースあるいはクーポン名、住所、氏名、年令、電話番号、希望する受講料のお支払い方法（銀行振込、またはクレジットカード払い）をご記入の上、school@artto.jp までメールをお送りください。受付後、受講料のお支払いと受講に関するご案内をメールでお知らせします。原則として、お申込完了後の変更、キャンセルおよび返金は受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お申込開始と締切　開始：2021年3月25日（木）

締切：「オールラウンダー」「セミ・オールラウンダー」＝5月28日（金）
基礎コースの「アートヒストリー」と「アーティスト」＝5月28日（金）
基礎コースの「ライティングA」＝6月9日（水）
基礎コースの「ライティングB」と「リーディング」＝7月14日（水）
視点のプール クーポン＝10月15日（金）まで、随時受け付けています。

※ 受講資格は特にありません。アートに関心があれば、どなたでも受講することができます。／表示されている受講料は、消費税込みの金額です。／掲載している情報は、2021年3月現在のものになります。／レクチャーのテーマや内容、スケジュール、講師は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。／アートトスクール2021の視点のプール クーポン有効期限は、2021年12月末日になります。／視点のプールのクーポンは、第三者へ譲渡して使用することはできません。／新型コロナウィルスの感染症拡大による影響などで、レクチャーをオンラインで行うことがあります。

説明会とミニレクチャー

アートト スクールやコース、レクチャーの特長などについて説明した後、小澤慶介によるミニレクチャーを行います。場所やレクチャーの雰囲気などについて知りたい方は、ぜひご参加ください。

4月：11日（日）10:00～11:30／23日（金）19:15～20:45／25日（日）10:00～11:30
5月：9日（日）10:00～11:30／21日（金）19:15～20:45／23日（日）10:00～11:30

説明会へのお申込は、件名を「説明会」とし、ご希望の日時、住所、氏名、年令、電話番号をご記入の上、school@artto.jp までメールをお送りください。各回、定員は10名になります。

お問合せ・お申込先

一般社団法人アートト
〒135-0005
東京都江東区高橋7-5 酒井ビル2F

Tel: 03-6659-5379
E-mail: school@artto.jp
URL: https://artto.jp/

アートト／artto

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団

アートト 2021

School of Contemporary Art　artto

荒木悠
美術家

今井朋
アーツ前橋学芸員

沢山遼
美術批評

成相肇
東京ステーションギャラリー
学芸員

西川美穂子
東京都現代美術館
学芸員

桝田倫広
東京国立近代美術館
主任研究員

百瀬文
美術家

森弘治
美術家

森田浩彰
美術家

森元庸介
東京大学大学院
総合文化研究科准教授

清澄白河のアートスクール 6月開講

アートト スクール 2021

21世紀に入って20年経った今、アートはどのようなものになりつつあるでしょうか。全世界に広がった疫病によってあらゆる活動が勢いを失い、生活文化は予期していなかったものになりました。これまで人間が作り上げてきた価値や生き方が見直されている時、アートはそうした状況にどう反応してゆくのでしょうか。アートとは何か、そしてこの時代のアートは何をとらえ、投げかけるのか。アーティストやキュレーター、研究者とともに見て、考えます。

2021年度は、**4つの基礎コース**と選択制の**視点のプールの15レクチャー**を少人数で開講します。※レクチャーは、基本的には対面で行いますが、場合によりオンラインで実施することもあります。

各コース・レクチャーの詳しいスケジュールは、アートトのHPでご確認ください。
https://artto.jp/

基礎コース アートヒストリー（AH）

全14回

2021年6月～12月　日曜日 10:00～12:00

なぜ、アートは今のようになったのか。そして、アートとは何か。これらの問いに向き合いながら、過去200年のアートの足取りを、同時代との関係から読み解きます。それは、西洋のアートが、技術発展や社会変革、戦争、グローバリゼーションを経て世界に広がってゆく流れを追うこと。それを、時に哲学思想や社会学などにも触れながら、考察します。現代アートの基礎的な知識や考え方を学びたい方であれば、どなたでもご参加いただけます。沢山遼氏による回は、オンラインで実施します。

1 アートが先か、美術館が先か
2 現代アート、ゲームの規則
3 近代絵画の使命―ロマン主義から抽象絵画まで　講師：沢山遼
4 二つの世界大戦とアート―ダダとシュルレアリスム　講師：沢山遼
5 ヨーロッパからアメリカへ　講師：沢山遼
6 マルセル・デュシャンが開くインスタレーションの道
7 時間よ止まれ！―写真が明かした世界の姿
8 スペクタクルの社会と映像文化
9 戦中・戦後日本の前衛芸術
10 1990年代のグローバリゼーションと多文化主義
11 新自由主義と二極化するアート
12 生み出された地方と芸術祭
13 絵画は、いま　講師：桝田倫広
14 複雑な世界と多様化する表現

基礎コース アーティスト（Ar）

全14回

2021年6月～2022年1月　日曜日 13:00～15:30 ※プレゼンテーションの回は13:00～16:00

私たちが生きる時代や社会をどう読み解き、表現してゆくのか。またアーティストとして自立するためには何をなすべきか。同時代に対する視点の獲得とその表現への展開方法について、ディスカッションやプレゼンテーションをとおして学びます。受講資格は特になく、作品を制作していれば、どなたでも受講することができます。すべての回は、美術家の森弘治と小澤慶介によって行われます。また、一部で美術家の森田浩彰をゲストに迎えて行われます。

同時代に対する視点から作品へ
1 作品のプレゼンテーション
2 制作動機と作品の自己分析
3 同時代に対する視点を探る WS
4 同時代性と表現の種
5 表現の種から作品を考える
6 作品を成立させるための要素を考える
7 新作のプレゼンテーション

空間に対する考えを深める
8 「空間」から作品を考える
9 空間を読み解く力をつける WS
10 歴史と記憶から空間を読みこむ
11 作品から展示空間へ
12 作品を展覧会でよく見せるために
13 新作のプレゼンテーション
14 自立したアーティストになるために

WS ワークショップ

基礎コース ライティングA/B（WrA/WrB）

全8回

ライティングA（WrA）2021年6月～10月　水曜日 19:15～21:15
ライティングB（WrB）2021年8月～12月　土曜日 16:00～18:00
※ライティングA、Bの違いは、開講日時です。構成と内容は、同じになります。

作品や展覧会を見て考えたこと、またふだんの生活で疑問に感じていることを文章にして書き、伝える方法を学びます。視点と考えを整理し、読み手を意識しながら書いてみましょう。そして、作品や展覧会の成立背景を調べることも忘れずに。複雑で多様な現代アートを自らの言葉で客観的に捉えたい社会人やアーティストなどにおすすめです。
すべての回は、小澤慶介により行われます。

1 アートについて文章を書くということ
2 作品について書く
3 作品の成立背景をしらべる
4 展覧会のレビューを書く
5 展覧会の主旨と作品の関係を読み解く
6 モヤモヤを言葉にして企画を考える
7 要点を整理して企画案をまとめる
8 発表とまとめ

オールラウンダー セミ・オールラウンダー

オールラウンダーはアートト スクール2021の57レクチャーをすべて、セミ・オールラウンダーはアーティストを除く43レクチャーを受講することができます。アートの歴史や理論だけではなく、アート界の成り立ちや構造、また近年話題になっている議論や現象などについて短期間で網羅的に学びたい方におすすめです。

基礎コース リーディング（Re）　2021年7月～11月　火曜日 19:15～21:15

NEW!
全6回

「歩行」について、いくつかの文章を読みながら考える6回のコースです。目的を持たず、地図や情報にとらわれず、また機器を頼らない歩行というものは、技術の発展によって生活文化がますます快適になるなかで、どのような意味を持つのでしょうか。人間が生まれてはじめて自らの力で獲得した移動手段のラディカルさについて、コロナ禍との関係で考え、語り合います。同時代に対する視点を得たいアーティストや社会人などにおすすめです。
すべての回は、小澤慶介により行われます。

触れる予定の書籍
ティム・インゴルド
『ラインズ 線の文化史』
レベッカ・ソルニット
『ウォークス 歩くことの精神史』ほか

視点のプール 選択制レクチャー　全15回　※視点のプールのみの受講もできます。

平日開講 19:15～21:15　土日開講 10:00～12:00 / 13:00～15:00 / 16:00～18:00

視点のプールは、現代アートと同時代の関係について、一歩踏み込んで考えるための選択制レクチャーです。アートの現場と実践をはじめ、身体とアイデンティティ、時代の転換期のアート、記憶とアーカイブ、グローバル化した世界とアートまで、5つの視点15レクチャーを開講します。

アートの実践

2021年、美術批評家が見たニューヨーク　沢山遼	美術館へ行こう！　小澤慶介	アーティスト・イン・レジデンス（AIR）と緊急事態　小澤慶介

身体とアイデンティティ

まずは、廊下から　森元庸介	わたしの/ではない身体　百瀬文	言葉・身体・アイデンティティ　荒木悠

時代の転換期に、アートは

戦時下美術教育と「構成」のゆくえ　成相肇	揺れる言語と表現を―大正期の芸術について　小澤慶介	人間と表現の変容―第一次世界大戦とアート　小澤慶介

記憶とアーカイブ

3.11をめぐる記憶の表象　小澤慶介	前衛芸術の保存と再現　西川美穂子	まちとアートとアーカイブ　今井朋

グローバルスタディーズ

失われたエコロジーとアートの関係　小澤慶介	自己と他者のあいだに　小澤慶介	包摂と排除―移民と移動をめぐるアートの歩み　沢山遼

アートト/artto とは?

2016年6月に清澄白河ではじまった現代アートのスクールです。同時代と近い未来を表すといわれる現代アートには、この刻々と変わりゆく世界を読み解くヒントがたくさんあります。アートの現場に行き、見て、聞いて、語り合い、アートとこの世界の結び目をさまざまな角度から考えます。現代アートのスクールのほか、ヨガクラスも開いています。

プログラム・ディレクター
小澤慶介（一般社団法人アートト代表理事、インディペンデント・キュレーター）

1971年生まれ。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジにて美術史修士課程修了。NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ［AIT/エイト］を経て、2016年に一般社団法人アートトを設立。これまでに「十和田奥入瀬芸術祭 SURVIVE この惑星の時間旅行へ」（十和田市現代美術館ほか、2013年）や「六本木クロッシング2016展 僕の身体、あなたの声」（森美術館、2016年）など数々の芸術祭や展覧会にてキュレーターを務めている。現在、茨城県守谷市を拠点とするアーティスト・イン・レジデンス事業アーカスプロジェクトのディレクターおよび 法政大学兼任講師を兼務している。